

平成19年7月23日～24日 第17回アストロダイナミクスシンポジウム報告(当財団支援)

おかげさまで、今年は第17回目を迎えました。いろいろ宇宙開発の信頼性を議論する機会が増えてきていますが、技術判断に問題のある場合も少なくないように感じています。宇宙開発が高度化し、ロボティクス、編隊飛行、月・惑星探査などと、応用力学に基礎をおきながらも、航法・誘導・制御の研究領域でもあるアストロダイナミクス分野の重要性は、ますます高まっているように思います。新宇宙機関 JAXA のプロジェクト関係者が、大学や、研究機関の方々と、各種の研究課題を話し合い、理論の応用を模索することは大いに有意義であると考えております。われわれアストロダイナミクス関係者としては、ときには、純粋に研究・技術論議に時を過ごす機会を確保したいものと考えております。

昨年度は講演数が70件、参加登録者数も300名を数え、盛況でした。今年度も、発表時間の確保を第1に、1件あたり30分間を確保し、十分な発表時間と質疑時間を用意して、満足のいただける量の後刷り集を出版する方針でおります。内容は、できるだけプロジェクト構想やシステム記述様の総論的なものは避け、地味ながらも基本的な研究・技術課題に焦点をあてて取り組みたいと考えております。未完成あるいは途上の研究・技術発表も多いに歓迎したいと思います。今後とも大学院生や若手技術者の方々の参加も期待しています。後刷り集は英語で刊行いたしますので、以降の国際学会への投稿の準備の機会としても活用いただければ幸いです。

